

なつやすみに おすすめのほん

2016年7月 和光市図書館

和光市図書館の職員が選んだ「夏休みに読んでほしい本」を紹介します。

幼児むけ、小学1、2年むけ、3、4年むけ、5、6年むけです。

ぜひ読んでみてください。

幼児むけ

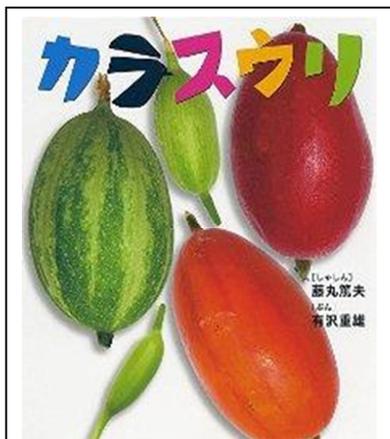


『いもうとガイドブック』

ポーラ メトカーフ・文 スザンヌ バートン・絵

少年写真新聞社 2015年発行 分類 E

いもうとのことがよくわかるガイドブック。
おねえちゃんのまねをしてなんでもやりたがり
ます。おもわずくすっとわらってしまうえほん
です。



『カラスウリ』

藤丸 篤夫・写真 有沢 重雄・文

そうえん社 2016年発行 分類 479

カラスウリはスイカやキュウリとおなじ
ウリのなかま。とてもきれいなあかみが
なります。カラスウリのはなはよるにさきはじ
めます。ふしぎなかたちのはなです。しゃしん
なのでまるでちかくでみているかのようにたの
しめます。



『はちみつ』

ふじわら ゆみこ・文 いせ ひでこ・絵

福音館書店 2016年発行 分類 E-3D

みつばちをかってはちみつをとるようほうじ
ょうのおはなしです。みなさんにとってはこ
わいみつばちもようほうじょうではすこしち
がうようです。しぜんやひとのあたたかさがあ
ぶらえからもつたわってくるえほんです。

しょうがっこう1、2ねんせいむけ



『わたし、くわがた』

とくだ ゆきひさ ぶん 得田 之久・文 たかはし きよし 絵
たかほし きよし 絵
ふくいんかんしよてん ねんはっこう ぶんるい 福音館書店 2011年発行 分類 E-ミド

「わたしは、ノコギリクワガタのめす。すんでいるのはクヌギヤコナラのぞうきばやし。よるになると、じゅえきをすいに、いろいろなむしたちが、あつまってくるの。」クワガタ女子からみた、むしたちのせいかつのようすが、たのしいかいせつで、かかれています。



『なんでももってる(?) 男の子』

おとこ こ
いしがき のりこ やく
アイアン・ホワイブラウ・作 石垣 賀子・訳
すぎはら ともこ 絵
とくましよてん ねんはっこう ぶんるい 徳間書店 2010年発行 分類 933 ホ

おおがねもちで、ナンデモモッテル家のひとりむすこ、フライは、たくさんのおもちゃ、じぶんだけのゆうえんち、ありとあらゆるおかしなど、ほんとうになんでももっていました。そのことをじまんすることにしたフライは、ごくふつうのおとこ男の子をいえによんで、うらやましがらせることにしました。ところが男の子は、ぜんぜん、うらやましがってくれません。そして、フライがきがついた、いちばんほしかったものとは・・・



『おばけ道、ただいま工事中!』

みち こうじちゆう
くさの あきこ さく 平澤 朋子 絵
いわさきしよてん ねんはっこう ぶんるい 岩崎書店 2015年発行 分類 913

あるひとつぜん、ぼくのへやにおばけ道があらわれた。「1 しゅうかんだけおねがい」と、おばけのサトにたのまれて、ひきうけてしまったけど、なんだかこわい! あのと、このよをつなぐおばけ道には、いきているにんげんは、はいっちゃんいけないけど、ねこのマロンがとびこんでしまったから、さあたいへん!

サトからもらった、おばけクーポンをつかって、ぼくはマロンを、さがしにいくことになった。

どうわしょうたいしょうじゅうしょうさくひん
SF童話賞大賞受賞作品です。

小学校3、4年生むけ



『かき氷 天然氷をつくる』 細島 雅代・写真 伊地知 英信・文

岩崎書店 2015年発行 分類 588

みなさんは、かき氷は好きですか？夏になるとあちこちで目にするかき氷ですが、埼玉県の長瀨では、100年以上も前の、明治時代から、山の谷間にある池で氷が作られてきました。このような天然氷をつくる氷屋は、埼玉県内では、阿佐美冷蔵さんだけになりました。自然の力を借りて、冬、手間ひまかけて作られる氷。どのように作られるのか、この本を読むとわかります。

読んだ後、実際に食べに行ってみるのもいいかもしれません。



『ふたりのロッセ』

エーリヒ・ケストナー・作 池田 香代子・訳

岩波書店 2006年発行 分類 943ケ

ドイツのミュンヘンから来た、おとなしいロッセ。オーストリアのウィーンから来た、おてんばなルイーゼ。ある夏、スイスの林間学校でぐぜん出会ったそっくりな顔をしたふたりの少女は、実はおたがいを知らずに別々の町で育った、ふたごの姉妹だったのです。父と母のひみつを知ったふたりは、別れた両親を仲直りさせるために、入れかわって、おたがいの家に帰ることにしました。ふたりは両親を仲直りさせることができたのでしょうか？

ハラハラドキドキ、笑って泣いて…ぜひ読んでみてください。

読みたい本が貸出中のときは予約できます。

くわしくは図書館のカウンターのの人に聞いてください。

小学校5、6年生向け

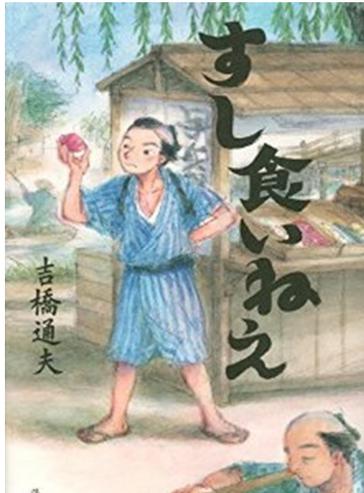
『すし食いねえ』

よしはし みちお さく こうだんしゃ ねんはっこう
吉橋 通夫・作 講談社 2015年発行

ぶんるい 913
分類

まめきち どう よへえ いっしょ やたい や いとな
豆吉はお父さんの与兵衛と一緒に屋台ですし屋を営
でいます。将来の夢は内店をもつこと一。

ひよんなことからお殿様の前ですしの味くらべをする
ことになった2人は今までにないおすしを作ろうと試行
錯誤します。そこで豆吉が目をつけたのはマグロ。マグロ
はこの時代、とれすぎたのでタダ同然の下魚だったとい
うのだから驚きです。お侍さんやライバルのすし店の
娘のおきょうなど登場人物と豆吉の軽快な江戸ことば
でのやりとりも魅力の1冊です。



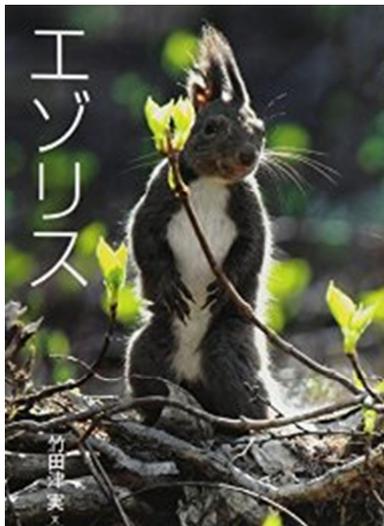
『エゾリス 北国からの動物記⑧』

たけ たづ みる ぶん しゃしん かん ねんはっこう
竹田津 実・文、写真 アリス館 2015年発行

ぶんるい 489
分類

ほっかいどう す じゅうい し しゃしんか ちよしゃ りょうて
北海道に住む獣医師で写真家でもある著者が、両手
両腕が赤いので「アカキチ」と名づけたエゾリスを主役に
観察した記録です。野性でありながら著者の背中に飛びの
って驚かせたり、アカキチと名前を呼べば近づいてきた
り・・・。アカキチとの4年間で愛情あふれる沢山の写
真と鋭い観察眼、丁寧な文章で綴られています。

きたくに どうぶつき ほか
北国からの動物記シリーズは他にも『クロテン』や『タ
ヌキ』があるのでぜひ読んでみてください。



『ムーミン谷の夏まつり』

だに なつ さく え しもむら りゅういち やく
トーベ ヤンソン・作、絵 下村 隆一・訳

こうだんしゃあお とりぶんこ ねんはっこう ぶんるい
講談社青い鳥文庫 2013年発行 分類 949ヤ

ムーミン谷に夏がやってきました。ところが大変！
洪水の大波がおそってきて家が全部水に浸かってしま
いました。そこへ流れてきた家に移り住んだムーミン
一家でしたが、不思議なことばかりおきます。なんと
その家は劇場だったのです。ムーミンパパの台本で劇
をすることとなる一家ですが、果たしてうまくいくの
でしょうか。大人気のムーミン谷シリーズです。

